

令和4年度

大府市総合教育会議 会議要点録

日 時	令和4年11月24日（木）午後2時から午後3時20分まで
場 所	大府市役所 委員会室1
出席者	市長、教育長、竹中教育長職務代理者、西村教育委員、近藤教育委員
事務局	企画広報課長、企画政策係長 教育部長、主席指導主事、学校教育課長、指導主事（2）、学校総務係長、 学校総務係主任 健康未来部担当部長、健康都市スポーツ推進担当課長、スポーツ推進係長
オブザーバー	山内副市長
公開の可否	一部非公開
傍聴者数	3人
議 題	報告事項 （1）バイオリンによる音楽教育について 協議・調整事項 （1）小学生の放課後におけるスポーツ・文化活動の支援について （2）中学校部活動の地域移行対応について

開会

1 あいさつ

- | | |
|-----|---|
| 市長 | <ul style="list-style-type: none">・11月に入って新型コロナウイルス感染者が増えている。感染予防と社会経済活動の両立を目指していく。・本日の重要な協議事項について忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。 |
| 教育長 | <ul style="list-style-type: none">・一部の学校で学級閉鎖が出ているが、子ども達の学びを確保したい。・新型コロナウイルス対策も学級閉鎖等で学校を閉じるのではなく、共存の形を考えなければならないと感じている。・今年度から高校入試の時期が2週間ほど前倒しされる。 |

2 報告事項 バイオリンによる音楽教育について

- | | |
|--------|---|
| 学校総務係長 | 《事務局から内容について説明》 |
| 教育長 | <ul style="list-style-type: none">・ご質問などお聞かせ願いたい。 |

- | | |
|------|---|
| 西村委員 | <ul style="list-style-type: none">・今後、興味を持った児童が公民館、児童老人センター等で継続して学ぶ場合、楽器はどのように用意するのか。 |
|------|---|

- 学校総務係長 西村委員
- ・各施設で用意することになると考えている。
 - ・2分の1成人式等で保護者に披露する機会があると良い。
- 市長
- ・子ども達が短い時間で演奏できるようになり、子どもの潜在能力の高さにとっても驚いた。
 - ・公民館、児童老人福祉センター等でバイオリンに触れる機会を増やしていきたい。
 - ・子どもだけでなく、高齢者にもバイオリン教室をして、楽しんで認知症予防をするという事業も面白いのではないか。

3 協議・調整事項

(1) 小学生の放課後におけるスポーツ・文化活動の支援について

- 学校総務係長 健康都市スポーツ推進課長
- 《事務局から内容について説明》
- 教育長
- ・ご質問などお聞かせ願いたい。
- 西村委員
- ・これまでの課外活動だと陸上大会や演奏の場等、成果を発表する場があったが、そのような場は想定しているか。
 - ・学校の関与は無しとしているが、保護者の迎えが遅かった場合等トラブルは起こりうるかと考えるが、そういった場合の対応はどう考えているか。
- 健康都市スポーツ推進課長
- ・発表の場等は、今後検討することになるが、まずは子ども達の活動の場を用意することを第一に考えている。
 - ・保護者の送迎については、あくまでも学校外の活動であるため、保護者の責任で行っていただくことが前提だが、運営団体と検討していく。
- 竹中委員
- ・小学校で新たに事業を行うことになると、ユースウィンドオーケストラと違い、初めて楽器に触れる子どもを指導することになると思われるが、そのような指導体制は可能か。

学校総務
係主任

- ・ユースウィンドオーケストラもコロナの影響もあり、ここ数年間は活動できていなかったため、今年度集まった子どもたちは初めて楽器に触る子どもばかりなので、初めて楽器に触れる子どもへの指導はユースウィンドオーケストラの指導を参考に進められると考えている。

近藤委員

- ・スポーツ活動について、1から3種目の実施を想定しているようであるが、種目で運営団体が変わるのか。
- ・年度の途中から参加することも可能か。

健康都市ス
ポーツ推進
担当課長

- ・種目ごとに運営団体は変更しないが、指導者は取組によって変更することを想定している。
- ・時期ごとに種目を変えることを想定しているため、途中からの加入も検討したい。

市長

- ・来年度モデルとして2校で実施して、その後に制度を整えていくことになると思われるが、保護者負担については多くの意見があると考えられる。
- ・文化活動については、弦楽器についても検討してほしい。
- ・文化活動の団体については、楽友協会などもあるため、そういったところにも協力を依頼しても良いのではないかと。

(2) 中学校部活動の地域移行対応について

学校総務係
主任

教育長

- ・円滑な部活動の運営に向け管理団体の配置とあるが、この団体をどのように支援していくのかというのが、市や教育委員会の務めと考えている。

竹中委員

- ・コーディネートする団体が地域移行のカギを握ると考える。
- ・管理団体は指導する団体か、それとも指導者を派遣する団体か。

学校総務係
主任

- ・管理団体は、部活動の指導をするのではなく、大府市の部活動全体をコーディネートすることに特化してもらうことを想定している。
- ・管理団体には、指導者の派遣だけでなく、活動の巡回や指導者の研修や生徒のニーズ調査等の業務をお願いしたいと考えている。

西村委員

- ・指導者の派遣について、団体ごとに人数を決めて派遣をお願いするような形になるのか。

- 学校総務係
主任
- ・団体によって派遣できる種目や人数は異なってくるので、団体に一律に何人とお願ひするのではなく、いろいろな団体と調整しながら指導者を確保していきたい。
 - ・大学生にもメインではなく、サブ指導者のような形で協力していただくことも想定している。
- 教育長
- ・現在の案では指導料を徴収することを想定しているが、これまで徴収していなかったものを徴収するというのは大きな検討課題になってくる。
 - ・全国の自治体が新たに取り組むことなので、前例がなく難しい挑戦になる。
- 西村委員
- ・愛三工業の陸上部や東海興業のバドミントン部等、全国区の企業の部活動もあるので、そういった企業とも連携できるとよい。
- 竹中委員
- ・allobu の図書館と連携して、司書さんに文芸部に協力いただくのも良いかと考える。
- 市長
- ・管理団体がこの事業のキーになると考える。指導者集めや学校との調整、指導の巡回など非常に重要になるのではないかと。
 - ・地域に非常に良い企業や良い人材がいるので、うまく連携しながら進めてほしい。
 - ・市外でも県内には良い大学や企業が多くあるので、子ども達のためにオール市役所で取り組んでいきたい。